

2013年度 事業報告・決算報告

<新規事業>

1. 東京おもちゃ美術館 5周年記念関連イベント

①森のおもちゃ美術館の開催

開催日程:5月17日(金)~19日(日)

開催場所:ロハスデザイン大賞・新宿御苑展(東京都)

雑誌「ソトコト」企画によるイベント内にて、他団体との連携を図りながら昨年より質・量ともにさらに拡大して実施した。3日間で計30000人の来場があり、昨年のイベントに参加した方で今年も楽しみにしていたという方も多数おられただけでなく、東京おもちゃ美術館の広報も行え継続開催の意義を感じると共に他団体との関係性もより深めることができた。



②世界おもちゃサミットの開催

開催日程:6月9日(土)

開催場所:早稲田大学国際会議場(東京都)

日本子ども学会との共催。世界各国及び日本のおもちゃに関心のある方々に集まっていただき、「おもちゃの力」について考えた。榎原洋一氏(お茶の水女子大学)、春日明夫氏(東京造形大学)の基調講演を皮切りに、海外からは、ドイツ、タイ、台湾、アメリカからゲストを招待し、発達、環境、教育の視点からおもちゃについて考えた。またグッド・トイセッションとして計14のおもちゃメーカー、作家等のブースを開設、実際におもちゃを手にとりながら、おもちゃを考えることも行った。最後には「おもちゃ平和宣言」を採択し、おもちゃを通じた平和な世界の実現を誓って閉会した。参加者は約300名。報告書の作成も行った。(助成:国際交流基金)



③ やんばる森のおもちゃ美術館の開設支援

11月2日にオープンした「やんばる森のおもちゃ美術館」(設営主体:沖縄県国頭村)開設にあたり全面監修を行った。この美術館は、東京おもちゃ美術館初の姉妹館となる村立ミュージアムである。沖縄県唯一の林業地域である「やんばるの森」の材をふんだんに使い、沖縄における木育の拠点となるべくさまざまな仕掛けを用意した。県内各地の木工職人が



制作したオリジナルの木製玩具の展示、リュウキュウマツでつくった「ヤンバルクイナのたまごプール」、やんばるの森にある6種の材を使ってつくった「多樹種積木」、蔡温松を使った「トンネル」、沖縄ならではの玩具や遊具でいっぱいである。また移動型のおもちゃセットも作成し、今後は沖縄県に木育キャラバンとして展開する。なお、村で予算化した開設費用の不足分約1000万円をクラウドファンディングサイト「Ready for?」等を利用し募った。500名以上の支援者により、充実した館内環境を整備することができた。

2. ウッドスタート・木育推進

①赤ちゃん木育ひろば事業部の立ち上げ

東京おもちゃ美術館内に設置された赤ちゃん木育ひろばをモデルとして、全国各地の子育て支援施設や赤ちゃんスペースなどに地域材を取り入れ、木質化、木育化を推進していく事業を行っている。そのために4月より赤ちゃん木育ひろば事業部を立ち上げた。この事業部ではこれまでに、ピジョンハーツ受託保育園のスタッフ研修とおもちゃの選定及び保育士への全国研修会の講師派遣、第一三共製薬の企業内保育園2園のスタッフ研修とおもちゃの選定、積水ハウスがつくった「住むフムラボ」のスタッフ研修及びおもちゃの監修、無印良品渋谷店の「木育広場」の提案、新店舗内「木育」託児所のスタッフ研修、読売新聞社企業内保育園の監修、小学館集英社プロダクションが運営する「キッズパル」の木育おもちゃの監修、新宿区内保育園へのおもちゃの研修などを行ってきてている。また6月からは無印良品有楽町店において、週末におもちゃコンサルタントを派遣し、来店者とともにおもちゃの魅力を伝える事業も始まった。

② ウッドスタート宣言



昨年度までに3つの自治体で誕生祝品としての木製玩具の配布が始められたが、今年度は7月に福島県飯舘村、北海道雨竜町で、11月に沖縄県国頭村、岡山県西粟倉村、熊本県小国町で木製玩具の寄贈が始まった。

以上のような動きを受けて、「ウッドスタート」を推進する自治体や企業が、東京おもちゃ美術館と協定を締結し、「ウッドスタート宣言」をするように働きかけをしている。すでに新宿区、美濃市は宣言済み。その他自治体では、飯舘村、雨竜町、塩尻市、国頭村、西粟倉村、小国町が締結、また企業では、良品計画と協定締結を行った。

③子育てサロンの木育化事業

上記、「やんばる森のおもちゃ美術館」の設立に向けての全面監修の他、アウディがみなとみらい地区に建設した日本最大級のショールーム内のキッズルームの監修、無印良品旗艦店への「木育広場」の設置(2014年3月までに計27店舗に設置)、スーパーマーケットのサミットの支援による東京都杉並区内20団体への「赤ちゃん木育ひろばセット」の寄贈などを行った。これ以外にも企業内保育所の木育化への関わり、パレスシステムが受託した保育園の木育化への関わりなど、各地域からオファーが相次いでいる。

<継続事業>

1. グッド・トイ選考事業

担当理事: 善本眞弓

グッド・トイ2013として35点選定

投票や支部協力をもとにおもちゃコンサルタントが選ぶ玩具へ

年度前期は、「グッド・トイ2013」の選考活動を実施。4月27日・28日には、とうかいグッド・トイ委員会の協力を得て、758キッズステーションにおいて、また5月3日には東京おもちゃ美術館において、おもちゃコンサルタント投票、来館者投票を行った。その結果をふまえて、5月19日に最終選考会が行われ、35点のおもちゃが選定された。6月15日に選定証授与式が行われ、授与式にも各メーカーから数多くの方々が参加され、製作者にも定着してきた感があった。

後期は、選考の反省をふまえ、11月より「グッド・トイ2014」の選考を開始。年度末までに第2次選考まで終了し60点のおもちゃが候補に残った。これらについては、全国のおもちゃコンサルタントによる冊子投票の対象となり、その結果をふまえて年度明けに最終選考会が実施される。

2. 移動おもちゃ美術館事業

担当理事: 曽我部晃

企業や自治体による開催や3週間にわたる長期開催も
多様化を見せる主催者と形態

2013年度に実施されたキャラバンは以下の通り。

- 4月23日～5月12日 「木育キャラバン in 無印良品」 場所:無印良品グランフロント大阪店
5月4日～6日 「グッド・トイキャラバン in 横浜」 場所:横浜そごう9階市民フロア
5月17日～19日 「ロハスデザイン大賞 2013・森のおもちゃ美術館」 場所:新宿御苑
7月13日 「飯館村木育キャラバン」 場所:福島市飯野学習センター（あそび支援隊の活動として）
9月14日～16日 「木育フェスティバル in 塩尻」 場所:塩尻市こども広場あ・そ・ぼ
10月5日～6日 「弘前木育キャラバン」 場所:弘前ヒロロスクエア
10月26日～27日 「いいたて文化祭」 場所:パルセいいざか
11月9日～10日 「西粟倉木育キャラバン」 場所:西粟倉・森の学校
11月18日～19日 「うめだキャラバン(住友林業住まい博 2013)」 場所:西梅田スクエア
11月23日～24日 「府中ノ木育フェスティバル」 場所:出口公民館
12月1日 「関東大学ラグビー・早明戦」 場所:国立競技場
12月20日～1月13日 「グッド・トイキャラバン in トミトン」 場所:沖縄県豊見城市トミトン
1月25日～26日 「木育キャラバン in 秋田」 場所:秋田市にぎわい交流館AU
2月8日～9日 「木育キャラバン in 福岡(西日本短期大学)」 場所:アクロス福岡

3. 子育て・世代間交流事業

選定玩具を全国で触れられる場としての広場

おもちゃまつりも雨天でも大盛況

① 子育てサロン「おもちゃの広場」 担当理事:石井英子

北海道から沖縄県までのおもちゃコンサルタントが、全国184カ所で年間700回以上開催。
おもちゃ作家の協力を得て、新選定グッド・トイもセットに新しく加えた。



② 東京おもちゃまつり 担当理事:多田純也、曾我部晃



開催日:10月19、20日

会場:東京おもちゃ美術館十四谷ひろば

おもちゃコンサルタントの出展数、連携企業の出展数が過去最大となり、過去最大級の開催となった。2日目は雨だったにも関わらず、計7000人の来場があった。また「森のめぐみの子ども博」も同時開催した。

4. 病児の遊びとおもちゃ委員会

担当理事:荻須洋子／二瓶健次

多くのボランティアが病気の子と親を支える

ホスピタルキャラバン初の離島開催

① 院内ボランティア活動

下記の病院にて活動を実施中。活動に新たなボランティアが加わらないのが、継続的な課題になっている。下記セミナーでの呼びかけを通じ新たなメンバーの発掘に力を入れた。(活動内容P16 参照)

② ホスピタル・トイ・キャラバン

10月 20日 長野県立こども病院(長野県安曇野市) 参加TC:5名

3月 19～21日 鹿児島県立大島病院(鹿児島県奄美市) 参加TC:5名





③ セミナー

11月10日「TC向けフォローアップセミナー」会場:東京おもちゃ美術館

3月9日「病児の遊びとおもちゃケア」会場:国立成育医療研究センター講堂

〈基調講演〉田原卓浩(医療法人社団たはらクリニック 院長)

〈活動報告〉伊藤麻衣(国立成育医療研究センター チャイルド・ライフ・スペシャリスト)

片山恵美子(おもちゃコンサルタント)、

5. おもちゃの専門家育成事業

担当理事:宮森美里／稻葉恭子

TC講座、通学・通信カリキュラムを改訂

より活動につながる学びの場へ

①おもちゃインストラクター養成講座

認定者数:2615名 (60会場にて開催)

さらに新規開催地を増やし、おもちゃ美術館の書籍を活用するなど、宣伝ツールを充実させ、おもちゃコンサルタント養成講座への誘導を積極的に勧めてきた。特におもちゃ美術館での開催を年10回行い、年間で計60回開催した。

また支部との共催での実施も行っており、岩手、静岡、とうかい、広島での開催を行った。

②おもちゃコンサルタント養成講座

申込者数 通学の部 105名 通信の部 86名

通学、通信ともに、内容の充実を図るために、カリキュラム内容の検討を行った。通学については、第51期より新カリキュラムを施行、ハンドメイドのおもちゃ論、遊びを広げるおもちゃ論など、受講生のニーズが高い分野の講座も盛り込んだ。通信については、カリキュラム、教材、テキストを一新し、より魅力的な内容に衣替えをした。なお、おもちゃコンサルタントマスターにレポートの添削を依頼し、マスターの出番づくり、後進育成との関わりの場としても活用している。

③おもちゃコンサルタントマスター養成講座

開催日:12月14、15日 会場:東京おもちゃ美術館 認定者数:6名

昨年度に引き続き、マスターの位置づけを「おもちゃを通じた地域活動のリーダーの養成」として実施。応募時のポイント制の導入、研究成果の発表の実施によって、より質の高いマスターの養成に努めた。なおマスターの活躍の場として、おもちゃコンサルタント養成講座通信コースレポートの添削、芸術教育研究所・夏の学校手づくり講師、ウッドスタート事業やグッド・トイ選考事業への関わりなどを行っている。

6. 出版・編集事業

担当:近藤亜美

ガイド発行部数 10万部。

全国3万の幼稚園・保育園にも届ける

①出版『グッド・トイガイド 2013-2014』発刊:7月20日 部数:10万部(フリーぺーパー)

『おもちゃで遊ぼう』19号 発刊:3月20日 特集:目指せ!おもちゃの専門家

②編集『親子でウッドスタートBOOK 赤ちゃんからはじめる木のある暮らし』

発行:幻冬舎エデュケーション刊 発刊:5月10日

③ 監修『幼児の心とからだを育む はじめての木育』

編著:松井勲尚 発行:黎明書房 発刊:8月1日



7. 地域グッド・トイ委員会

担当理事:竹田ひとみ

支部活性化のためにスタッフを派遣

支部長会議であり方を検討

支部と本部との連携を強めるために、事務局スタッフ及び理事を支部活動へ積極的に派遣し、宮崎、広島、静岡、北海道などでおもちゃコンサルタントとの懇親会などを行いネットワーク作りを行った。また東京おもちゃまつり、グッド・トイ選考事業への支部としての参加を促した。木育キャラバンやおもちゃインストラクター養成講座の支部開催等を通じて、支部活動の活性化を図っている。6月14日、15日には支部長会議を開催し、各支部の現状と課題を共有、今後の支部活動のあり方について検討を行った。

支部主催の主なイベント 3月1日 「岐阜おもちゃまつり」ぎふグッド・トイ委員会主催

3月2日 「おもちゃまつり in とだがわこどもらんど」とうかいグッド・トイ委員会主催

8. 東京おもちゃ美術館事業

担当理事:宮森美里／菊池貴美江／春日明夫

過去最高の入館者数を記録

リニューアルを段階的に実施開始

東京おもちゃ美術館5周年を機に、昨年度のコンセプト会議報告書に基づき、館内リニューアル計画を進めた。9月の特別休館日を使用して行われた第1期工事では、おもちゃのもりのリニューアル、おもちゃ舞台の設置を行った。なお財源は、FIL財団からの助成金を充てた。

① 入館者数

	入館者数	前年度比
大人	72,198名	104%
子ども(3歳以上)	27,971名	108%
〃(2歳以下)	27,752名	101%
合計	127,921名	104%



② おもちゃ学芸員

登録者数 223名(2014年3月現在)うち、男性63名、女性160名。

より多くの方が、継続してかつ誇りをもっておもちゃ学芸員として活動できるように、イベントや特典などルール変更を行った。具体的には、「もっと遊ぼう会」の実施による交流の場の設定、感謝ティークの年間実施への移行、館内リニューアルに伴うおもちゃ学芸員の舞台設定および学芸員イベントの増加などの試みを行った。

③ 企画展

第11回企画展『郷土玩具展～祈りと願いがかたちになったおもちゃたち～』

4月13日～9月29日

第12回企画展『木のおもちゃ20作家展』10月7日～12月25日、

第13回企画展『郷土玩具展』(再展示)1月10日～4月6日



④ 館内リニューアル

2012年度に実施されたコンセプト会議をもとにした展示室の改善を実施。5年館運営をしての使い勝手や入館者の状況、おもちゃ学芸員の意見等を取り入れながら協議を進めた。下記3つのリニューアルのうち、「おもちゃのもり」と「3F

廊下」の改装を実施した。「きいろ」については次年度に行うものとする。(助成:FIL財団)

- おもちゃのもり — 新たなプレイスペースの構築と木の砂場の移設
- 3F 廊下 — おもちゃ学芸員専用、イベントパフォーマンス スペース新設
- おもちゃのまち きいろ — ひかりのこやのスペース見直し

9. 木育推進事業

担当理事:多田千尋

相次ぐウッドスタート宣言

店舗内へのキッズコーナーの整備が広がる

① 「木育の実践活動の推進」(林野庁補助事業)

今年度も林野庁補助事業「日本の森林づくり・木づかい国民運動総合対策事業」のうち「国民の参加・体験・学びの促進」の「木育の実践活動の推進」を申請。総額 1500 万円の助成金を得ることができた。この中で、下記事業を行った。

- ・木育インフォメーション事業:情報発信 web サイト「木育ラボ」の立ち上げ
- ・第3回森のめぐみの子ども博の開催(東京おもちゃ美術館):10月 19 日・20 日
- ・木育サミットの開催:3月 16 日(日) 場所:東京学芸大学芸術館
- ・木育インストラクター養成講座の開催:広島県府中市・長野県塩尻市で開催
- ・木育円卓会議の開催:大阪市・塩尻市・弘前市・西粟倉村・小国町で開催
- ・ウッドスタート推進事業:【自治体】飯館村・雨竜町・塩尻市・西粟倉村・小国町・国頭村

【企業】良品計画

② ウッドスタート事業 ※新規事業 2参照

③ 企業との連携 ※新規事業2参照

10 . 東日本大震災被災地支援「あそび支援隊」

担当理事:多田千尋／多田純也／曾我部晃

全村避難中の福島県飯館村で生まれた赤ちゃんに

同県の職人が制作した「クーゲルバーン」を



① 飯館村・木育キャラバンの実施及びウッドスタート支援

飯館村で生まれた赤ちゃんに同じ福島県の会津地方の職人が制作した「クーゲルバーン」の寄贈を開始。2013年5月には「ウッドスタート宣言」の締結も行われた。これは福島県内ののみならず、全国どこでも飯館村民であれば赤ちゃんにプレゼントされる事業として、スタートした。

7月 13 日 「飯館村木育キャラバン」 場所:福島市飯野学習センター

10月 26 日～27 日「いいたて文化祭」 場所:パルセいいざか



② 活動支援金について

A:2012 年度からの繰越額 1,702,066 円

B:2013 年度収入 0 円

C:2013 年度支出 551,315 円

→ 2014 年度への繰越額 1,150,751 円 (A+B-C)

特定非営利活動法人日本グッド・トイ委員会
2013年度決算
収支計算書

【単位:円】

I 収入の部

科目	13年度予算	13年度決算	予算比	決算額の主な内訳
1.会費寄付収入				
会費	正会員 賛助会員	8,000,000	8,040,000	101%
寄付金	一口館長等	1,350,000	1,091,040	81%
	東日本大震災 活動支援金「あそび支援隊」	50,000	0	0%
1.会費寄付収入 小計	9,400,000	9,131,040	97%	
2.事業収入				
②おもちゃの専門家育成	おもちゃインストラクター養成講座	16,000,000	18,212,438	114%
	おもちゃコンサルタント養成講座<通学>	7,300,000	7,260,000	99%
	<通信>	9,000,000	6,085,800	68%
③子育て・世代間交流	おもちゃコンサルタントマスター養成講座	600,000	300,000	50%
	東京おもちゃまつり	3,000,000	3,381,050	113%
④東京おもちゃ美術館	東京おもちゃ美術館 運営事業計	52,300,000	64,111,083	123%
	【内訳】 入館料	46,000,000	56,901,650	124%
	イベント講座	800,000	960,400	120%
	ショップ家賃	1,000,000	1,008,000	101%
	その他	4,500,000	5,241,033	116%
⑤病児の遊びとおもちゃ	病児の遊びとおもちゃケア セミナー	200,000	341,500	171%
⑥グッド・トイキャラバン	グッド・トイキャラバン / 木育キャラバン	7,500,000	10,073,600	134%
⑦おもちゃ病院	日本おもちゃ病院協会 事務局管理費	1,600,000	1,592,400	100%
⑧出版・編集	『おもちゃで遊ぼう』売上	2,600,000	2,547,728	98%
⑨木育推進	誕生祝品「ウッドスタート」	22,000,000	29,513,762	134%
	木育拠点整備	33,500,000	69,995,014	209%
特別事業	世界おもちゃサミット	3,400,000	2,958,000	87%
2.事業収入 小計	159,000,000	216,372,375	136%	
3.補助金	林野庁 「木育の実践手法の開発」	15,000,000	15,000,000	100%
4.雑収入		100,000	261,843	262%
収入計		183,500,000	240,765,258	131%

II 支出の部

科目	13年度予算	13年度決算	予算比	決算額の主な内訳
1.事業支出				
①グッド・トイ選考	グッド・トイ選定のためのおもちゃの選定事業	800,000	650,391	81%
	おもちゃインストラクター養成講座	10,000,000	11,587,046	116%
	おもちゃコンサルタント養成講座<通学>	2,800,000	2,184,650	78%
	<通信>	4,800,000	3,157,361	66%
③子育て・世代間交流	おもちゃコンサルタントマスター養成講座	230,000	201,855	88%
	東京おもちゃまつり	2,500,000	2,166,336	87%
	おもちゃの広場	550,000	520,585	95%
	会員活動支援(会員証、NPO保険、宅配、会報等)	1,800,000	832,869	46%
④東京おもちゃ美術館	支部助成金	1,000,000	579,610	58%
	東京おもちゃ美術館 運営費	50,860,000	47,743,812	94%
	【内訳】 イベント展示講座費	3,500,000	3,680,314	105%
	家賃光熱費	8,000,000	8,792,330	110%

	ボランティア運営費	5,500,000	5,465,451	99%
	スタッフ人件費	23,000,000	21,128,914	92%
	広報	800,000	486,240	61%
	監修費	1,760,000	1,764,000	100%
	その他 メンテナンス費用等	3,300,000	2,682,263	81%
	特別支出	5,000,000	3,744,300	75%
⑤病児の遊びとおもちゃ委員会	活動運営費、セミナー、ホスピタルキャラバン	850,000	1,196,203	141%
⑥グッドトイキャラバン	グッドトイキャラバン / 木育キャラバン	6,500,000	5,303,769	82%
⑦おもちゃ病院	日本おもちゃ病院協会 事務局管理費	1,400,000	1,400,000	100%
⑧出版・編集	『おもちゃで遊ぼう』編集出版	4,200,000	4,618,610	110%
⑨木育推進	ウッドスタート 誕生祝い品 事業	20,000,000	22,414,853	112%
	木育拠点整備	32,000,000	67,557,172	211%
⑩東日本大震災支援活動	あそび支援隊	600,000	568,115	95%
⑪特別事業	世界おもちゃサミット	3,400,000	3,048,895	90%
1.事業費 小計		144,290,000	175,732,132	122%
2.管理費				
①会議費	会場費・ハガキ代	100,000	108,562	109%
②旅費交通費	事務局スタッフ 理事会等交通費	1,000,000	632,250	63%
③通信運搬費	電話代・郵送・宅配便	2,000,000	1,572,804	79%
④事務・消耗品費		1,400,000	1,183,143	85%
⑤印刷製本費	封筒、総会資料	400,000	119,350	30%
⑥運営管理費	人件費 事務所家賃 年5万	10,000,000	5,824,340	58%
⑦法定福利費		1,400,000	1,403,701	100%
⑧租税公課	都民税 消費税	2,400,000	2,820,508	118%
⑨雑費	支払手数料 支払報酬	600,000	516,668	86%
2.管理費 小計		19,300,000	14,181,326	73%
3.補助金	林野庁「木育の実践手法の開発」	15,000,000	15,000,000	100%
4.長期借入金返済	東京おもちゃ美術館設立応援債、西武信用金庫	2,250,000	2,209,572	98%
5.予備費		500,000	0	0%
支出計		181,340,000	207,123,030	114%

III 2013年度決算 収支計算書 一覧

収入の部	13年度予算	13年度決算	予算比
会費寄付	9,400,000	9,131,040	97%
事業収入	159,000,000	216,372,375	136%
助成金・補助金 雜収入	15,100,000	15,261,843	101%
当年度 収入計	183,500,000	240,765,258	131%

支出の部	13年度予算	13年度決算	予算比
事業費	144,290,000	175,732,132	122%
管理費	19,300,000	14,181,326	73%
助成金・長期借入金返済	17,750,000	17,209,572	97%
当年度 支出計	181,340,000	207,123,030	114%

前期繰越金	44,903,526	44,903,526	100%
当期差引	2,160,000	33,642,228	1558%
次期繰越金	47,063,526	78,545,754	167%

特定非営利活動法人
日本グッド・トイ委員会

2013年度決算報告書

貸借対照表

2014年3月31日現在

[単位:円]

資産の部

1 流動資産

現金	612,328	
普通預金	48,770,973	
定期預金	9,508,003	
未収入金	29,233,421	
棚卸資産・貯蔵品	3,925,088	
仮払金	25,000	
前払費用	553,234	
流動資産合計	92,628,047	

2 固定資産

建物付属設備	37,221,063	
工具器具備品	4,197,153	
出資金	100,000	
固定資産合計	41,518,216	
資産合計	134,146,263	

負債の部

1 流動負債

未払金	4,283,099	
前受金	2,293,000	
前受会費	3,050,000	
預り金	437,955	
仮受金	303,000	

2 固定負債

長期借入金	8,321,232	
応援債	7,000,000	
負債合計	25,688,286	

正味財産の部

正味財産	108,457,977	
純資産合計	108,457,977	
負債・純資産合計	134,146,263	

監査報告書

2014年5月24日

特定非営利活動法人 日本グッド・トイ委員会
理事長 多田千尋殿

特定非営利活動法人日本グッド・トイ委員会

監事 川瀬 勝久

下柳第一

2013年4月1日から2014年3月31日までの2013年度における会計及び業務
の監査の結果について次のとおり報告致します。

監査意見

- 1、収支計算書は会計帳簿の記載と一致し、特定非営利活動法人の収支現況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- 2、事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- 3、理事の職務執行に関する不正の行為又は法令・定款に違反する重大な事実はないとの認めます。

以上